

◇「NPO からみた『協働型サービスラーニング』への期待」(松下典子先生)	.....p.1
◇「日本福祉大学サービスラーニングプログラムの背景とねらい」(原田正樹先生)	.....p.2
◇サービスラーニングクラスの授業風景	.....p.2~p.4

## ◇「NPOからみた『協働型サービスラーニング』への期待」

松下典子先生 (サービスラーニングクラス担当教員、NPO 法人地域福祉サポートちた代表理事)

「協働型サービスラーニング」が始まった。連携するNPOにとっても大変タイムリーな機会とこの関係に、NPOの新しいステージの始まりを感じている。

知多半島のNPOには法人格を持つ前の10年があり、この10年が現在の半島のNPOの基盤となり力になっている。またここに「協働型サービスラーニング」とつながる意義があると考えている。問題解決を直接当事者と共に話し合い学び合い、活動を共にする現場から成長、発展してきた現場のプロセスには、市民が立場を超えて対等に様々な困難を乗り越え知恵を出し合い、新しい価値、新しい責任、新しい暮らし方の提案として一つ一つを育てて形にしてきた経緯がある。それはまさに、地域の市民にとっては「市民性を育む」生きた生涯学習であり、これからその現場で活動する学生たちにとっては「自己形成の学びの場、機会」となって重なるものである。地域は、誰もが生きる、暮らす居住拠点。と同時に、地域に暮らす一市民として地域を良くしていく責任があるはずだ。半島のNPOの動機は様々であるが、その地域で起きている問題、気になることを「何とかしたい！」と、ボランティア活動として始まってきた。そしてお互いが育ちあう上で大切なケアの人材育成を核に展開してきた。「協働」という言葉から、ようやく行政はじめあらゆる領域で、これまでの価値観、組織の機能、役割等の見直しや、一緒になって新しいものを考え創り出す動きが顕著になり、人材育成の幅も広がってきている。



写真:サポートちた主催のヘルパー講座

社会全体が一度立ち止まり、これまでを振り返りながら、新しい時代への意識改革をすすめることが、教育の現場からも急務になっている。暮らし方が大きく変わり、当然発想の転換や学び方についても多元、多様な角度からの取組が必要と考えている。

当たり前で生きている姿から、また一人ひとりの意志として、“人として”、どういう暮らしが安心なのか、また、どう次代につなげばよいのかを考えることは大人の責任、社会の責任でもある。これから社会に出る学生たちには、“やれば出来る”“社会は変えられる”“夢は実現する”という人間の可能性を、NPOの現場から体感してもらうことができればと考えている。一人ひとりの大切な意志や持っている得意が地域につながり、地域から必要とされる役割を自らが発見して創り出していくという体感が、チャレンジすることや学ぶ楽しさにつながっていくことをNPO側は願っている。それは時間がかかることもあったり、悶々とする時期があったり色々ではあるが、そのプロセスを常に社会とつなげ、自らを高めていくことが重要であると思う。つながりが多ければ多いほど、「私」=市民の無限の可能性と明るい未来を描くことが出来、活動の楽しさや未知へ広がる楽しさも発見できるはずである。学生には、ありのままの自分、ありのままの地域の実態を視、聞き、知り、大いに語り、試行錯誤するプロセスを仲間と共有しながら、新しい時代を担う主体として次の時代をデザインする「創る」時間を大切に、「市民性」を育てていく機会となることを期待している。

市民が創ってきた緩やかなネットワークは、歴史の転換期を変える舵取りをしながら確実に新しい社会づくりを動かし続けてきている。そして何らかの影響を創り続けてきている延長線上にこの「協働型サービスラーニング」が重なったことは、社会的意義が大きいと考える。

## ◇「日本福祉大学サービラーニングプログラムの背景とねらい」

原田正樹先生(サービラーニングクラス担当教員、社会福祉学部准教授)

今日、社会福祉の人材養成確保は切実な問題である。社会福祉士に関する法改正に伴い、今年度より新しい養成課程が導入され、より実践力の高い社会福祉専門職の養成が社会的要請となっている。一方で、広く社会福祉を学ぶことは市民社会や共生文化をつくる主体者を育むことであり、これからの社会福祉系大学にとって重要な使命であると考えている。

こうした背景のもと、本学部ではFD(授業改革のための組織的な取組)や教育改革の議論を重ねてきた。そこではフィールドにおける体験的な学習が、学生の学習意欲の向上やキャリア形成にとって有効であること。また初年次教育から専門教育への橋渡し(教養教育や導入教育を含む)になる「2年次教育」が重要であることが指摘されてきた。そこで本取組は、大学教育上重要な2年次に体験学習を通して、「自己形成力」を育むことを重視した新しい教育課程とプログラム開発を試みることにした。

具体的には社会福祉学部2年生が全員履修する「社会福祉基礎演習」クラスにおいて、学生と担当教員、NPO 法人との協働によるプログラムを実施する。そのときにサービラーニングという教育方法を採用し、社会活動にもとづく実践的体験的なグループ学習を展開する。そのなかで学生個人の「自己形成力」<まなぶ力(学習意欲)、つながる力(対人関係能力)、やりとげる力(問題解決能力)>を高めていこうというプログラムである。

サービラーニングとは、学生の社会活動を学習素材として活用するプログラムである。社会福祉系大学では日本で初の取り組みになるが、すでに他分野の大学では学習効果を高めるなど実績を上げている。また知多半島はNPO 活動が全国的にも盛んな地域であり、本学ともすでにいくつものプロジェクトを実施してきている。本取組でこの地域のNPO 法人等との連携により、学びの拠点形成をはじめ「協働型サービラーニング」を展開していきたい。

## ◇サービラーニングの授業風景

5月7日編(第4回目の授業)

「地域福祉サポートちた主催 NPO 見学バスツアー」

### 1. ツアーのねらい

「NPO」という言葉を初めて聞く学生も多いため、実際にNPOを訪れ、理念や活動内容を知ることで、NPOについて学生自身がイメージをもつことをねらいとしている。

### 2. 見学先

各クラスで様々なNPOを見学させていただいた。今回は、「NPO 法人ふれあいネットワーク美浜」「NPO 法人 toピア」「社会福祉法人むそう」での見学の様子をお伝えする。

### 3. ツアーの様子

#### 「NPO 法人 ふれあいネットワーク美浜」

自分の家にいるような雰囲気  
をコンセプトに居場所づくりを行い、  
週2回のデイサービスを行っている。学生アンケートでは「アット  
ホームで雰囲気がよかった」の声が多く、「地域に根付いた活動ってまさにこういうことなんだ」という声もあがった。



#### 「NPO 法人 toピア」

「toピア」の建物は2階建て、リースペースや就業応援を行う「toピア」は2階部分、1階には高齢者デイサービスを行う「菜の花」が入っている。2つのNPO 法人が1つの建物に入っていることに驚き、関心をもつ学生が多く、「NPO 同士が協力し、助け合うことは難しいけど大切なこと」という声が多数あげられた。



#### 「社会福祉法人 むそう」

障害者支援を行っている「むそう」の代表、戸枝さんからお話を伺った。制度に頼るばかりでなく、自ら制度や地域社会に働きかけていく姿勢に、学生からは「福祉がいろんなところに広がっていて感動した」、「福祉現場の問題にどう対処したらいいのかわからなかったが、私も何かできるのではないかと、したいと思った」という声があがった。



NFU SLC |

#### 4. バスツアーに対する学生のリフレクション

「NPOによって、活動している内容が様々で、自分たちでこのまちの中で何が必要か考えて行動している姿を見て、とても感心した。NPOの原点には、“人と人とのつながり”があるのだと改めて感じた。自分でもっと“美浜”で何を求められているか考え、何ができるか一度考えてみたいと思う。今自分が何をしたいか明確にしていきたい」(S.M)

「様々なNPOの特色を見ることができ、本当に良い経験ができた。行政ではカバーできない部分を支援していて、それが市民の力から生まれていることに驚くとともに、自分の身近なことなんだと再認識することができた」(T.S)

「今まで自分が想像していたNPOのイメージとだいぶ違って、NPOを自分に身近に感じることができた。利用者が笑顔になれる活動をしているNPOがすごいと感じ、また私自身もそれぞれのNPOについてもっと知っていき、参加できるような活動をしていきたいと思った。今後は、利用者の方の気持ちはもちろん、NPOを創設した創設者の方の気持ちも理解できるような学習を進めていきたい」(Y.M)

「3つのNPOを見学させていただいて、それぞれ行っている事業は違い、それぞれの特徴があることが分かった。けれど、どこのNPOにも共通していたのは、地域の困っている人たちのため、地域の暮らしを良くするために事業を行っていることであると思った。NPOの設立には、多くの人に関わり、多くの人協力や何とかしたいという気持ちがあることが分かった。地域にある問題を知ること大切であると学んだので、地域のことをもっと知っていきたいと思った」(S.T)

#### 5月27日/6月10日編(第7/第9回目の授業)

#### 「村上先生クラスのポスターづくり」

村上先生クラスでは、6月17日に行われる活動先NPO法人担当者との事前打ち合わせ会に向けて、2度のポスターづくりを行ってきた。

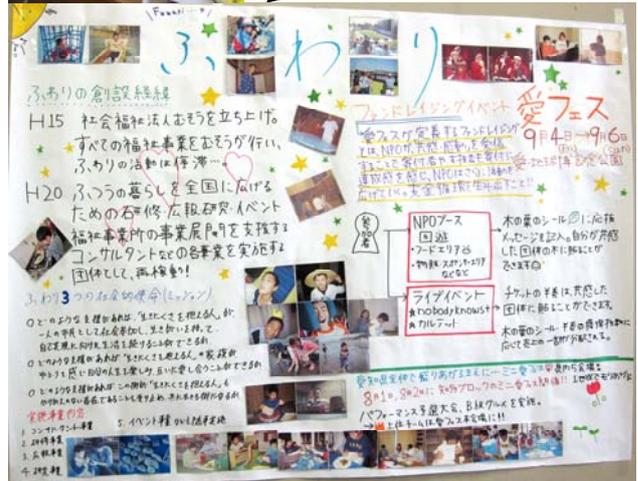
#### 《第1弾! 活動先紹介ポスターづくり》

自分たちが調べてきた活動先の情報をポスターに表現し、クラスみんなに活動先を紹介した。この時点でのポスターづくりには次の3つのねらいがある。

- ①メンバー同士の共通理解をつくる。
- ②共同作業でチームワーク力を高める。
- ③活動先に愛着をもつ。



NPO法人ふわり班では、活動写真満載のポスターが完成!



#### 《第2弾! 活動計画プレゼンテーション・ポスターづくり》

活動先で何がしたいのか・できるのか、これまで考えてきた活動計画を6月17日の事前説明会の場で担当者にプレゼンするため、第2弾のポスターづくりを行った。計画を実現するため、自分たちの思い、計画内容、質問等を書き込んだ。(6月10日の作業様子↑)



6月17日編（第10回目の授業）

## 「活動先 NPO との事前打ち合わせ会」

サービスマーケティングの活動先担当の方に本学美浜キャンパスまでお越しいただき、「学生との事前打ち合わせ会」、「ミニレクチャー・意見交流会」を開催した。

### ◇事前打ち合わせ会

～石川先生クラスの進行と様子～

グループごとに活動先 NPO と打ち合わせを実施した。全グループ共通で、学生の企画に好意的で学生の興味や自主性を引き出しつつ活動が実施できそうだ。このようなことから、学生たちは本当に学びや成長をするための良い機会が得られるということになる。知多の NPO は本学学生と教職員にとって誠にありがたい、大切な存在である。学生が自主性を発揮し、どのような社会活動をするのか、そしてどのような成長をするのか、楽しみである。



### 「エンドゴールグループ」の打ち合わせの様子



若者の就労支援をするエンドゴール。学生と同世代の若者なので、学生の自分探しも重なる。学生はフリートークや清掃活動企画を検討。理事長の久保さんは、学生のやる気や発想力をうまく引き出してくれている。



### 「チャレンジ」グループの打ち合わせの様子



美浜町内で障害児者の支援をしているチャレンジ。学生は夏休み中の障害児の日中活動や、近くの海でのバーベキューを企画し、準備している。理事長の辻さんは本学卒業生である。



### 「菜の花」グループの打ち合わせの様子



高齢者の小規模デイサービスを行う菜の花と障害者支援をするToピア。菜の花と To ピアは同じ建物内で、必要に応じ共同で事業を展開している。学生たちは菜の花では、昔風のお手玉や紙のコマ・メンコ、五平餅作り、「回想法」にも挑戦する予定。Toピアでは活動のお手伝いをしつつ、利用者と寄り添った活動を目指している。



### 「ばお」グループの活動計画案

不登校の子どもを支援するばおは、半田小学校内の半田市民参画支援センター内で活動している。通ってくる子どもたちは多くないので、子どもたちとじっくり向かい合い、距離を縮め、三角野球や草サッカーを考え中。ばおからは子どもと一緒に HP を作ってほしいとの要請がある。代表の関さんは本学卒業生。

～村上先生クラスの進行と様子～

最初に、準備した「活動先とそこで希望する活動内容」についてのポスターをもとに、学生たちからの発表を行った。その後、グループごとの事前打ち合わせで「活動についての質問」への回答、希望する活動内容への助言、活動先が学生に希望する活動内容の説明などを活動先の方からしていただいた。学生からは活動先の方と直接話ができたことで、活動先とそこでの活動内容について理解が深まり、改めて活動への意欲が高まったという声が上がった。

### ◇ミニレクチャー・意見交流会

打ち合わせ会に続き、ミニレクチャーと意見交流会を開催し、活動先の方にご出席いただいた。ミニレクチャーは、



村上先生から「ボランティア・市民活動の現状と課題から見る市民教育推進の必要性」のテーマでお話しいただいた。意見交流会はクラスごとに行い、学生と打合せた感想や今後の進行について話し合いが行われた。松下先生クラスでは、ある担当者から「学生には仲間の一人として活動してもらい、地域で何ができるか考え提言してほしい。共に生きることについて一緒に考える機会にしたい」という意見が出ると、各担当者の顔くさがみられた。お忙しいところお越しいただいた皆様方、本当にありがとうございました。

### ◇編集後記

事前打ち合わせが終わり活動実施まで約1ヶ月前後。次回は実際の活動様子をお届けいたします。（M）

発行：日本福祉大学サービスマーケティングセンター

発行人：木戸利秋

〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田

Tel:0569-87-2317 / Mail:slc@ml.n-fukushi.ac.jp

NFU SLC |